

内容確認	公開・非公開の	〈開催日〉令和6年7月25日(木)	〈傍聴人数〉1名
石田会長	別	〈時間〉14:00~15:00	〈傍聴室〉
承認	公開	〈場所〉岸和田市役所 4階 第1委員会室	岸和田市役所 4階 議会会議室

〈名称〉令和5年度第1回岸和田市国民健康保険運営協議会

〈出席者〉委員19名中18名 ○は出席、■は欠席

笠松	田中	泉本	米本	田中秀		高松	浦田	渡邊	木村
○	○	○	○	○		○	○	○	○
森田	炭谷	石田	坂西	井尻	田中伸	山中	藤原	森	出原
○	■	○	○	○	○	○	○	○	○

〈事務局〉保健部：山本部長

健康保険課：新内課長、岡田保健担当参事、宇野滞納整理担当主幹、岸田給付担当主幹、
采女資格賦課担当主幹、高木資格賦課担当長

〈議題〉

- 1 令和5年度 国民健康保険事業特別会計決算見込みについて
(資料1)
- 2 令和6年度 国民健康保険事業特別会計予算概要について
(資料2)
- 3 令和6年度 岸和田市国民健康保険個別保健事業実施計画について
(資料3) (別紙1)
- 4 その他(オンライン資格確認とマイナンバーカードの保険証利用について)
(別紙2)

〈会議内容〉

■議題1について、資料に基づき事務局から説明。

■意見・質疑

【委員】

共同事業拠出金の内訳は、こういったものか。

【事務局】

過去の制度のものを精算するというので、経過措置のものである。令和5年度が最終で、令和6年度からは発生しない。内容については、詳細を調べて後程説明する。

【委員】

共同事業拠出金は、令和6年度からゼロになる根拠についても併せて説明をお願いします。

【事務局】

先ほど、決算でご質問いただいた共同事業拠出金について説明する。既に廃止されている退職者医療制度については、事務の関係上、経過措置期間がおかれていた。レセプト等の事務処理など対象者に係る経費を国保連合会へ支払っていた。令和5年度を最終年度として、令和6年度から完全廃止となり条例についても既に改正されている。

■議題2について、資料に基づき事務局から説明。

■意見・質疑

【委員】

予算と決算の違いに関しては、検証されてるのか。例えば、総務費では、令和5年度で、予算から決算は減少しているのに、令和6年度予算は更に増加しているのはどうしてか。

【事務局】

総務費で申し上げると、令和5年度の決算で3億2,300万円余り、令和6年度予算が3億7,000万円余りとなっている。様々な事業を行っていくなかで、入札等を行うために、予算を一定確保しながら行うものもある。もう一点、総務費の中には人件費が含まれている。人件費に関しては、近年、人事院勧告を受けて増加している。これらが要因となる。予算執行にあたっては、十分注意をしながら行っていく。

【委員】

次回からは、そういったことも含めて説明いただくと、市民がわかりやすいと思う。

【事務局】

今後、注意して説明させていただく。

【委員】

令和3年、4年、5年と収支がだんだん悪くなる傾向にある。保険料については、大阪府で統一となるため、他の市町村も同じような傾向にあるのか。仮に、他の市町村と比べ悪くなっているようであれば、府内統一であるため収入の面では変わらないので、費用の面で対応が必要になる。

【事務局】

令和3年、4年と収支は悪化し、そして5年は、単年度で赤字となった。この傾向は、府内他市町村同様である。他団体でも、令和5年度は単年度で赤字となるため、基金を取り崩すことを行っている。また、赤字決算となった団体もあると聞いている。5年度の悪化の要因は、令和4年10月に制度改正により被保険者が大きく減少したことで、保険料と事業費納付金の見込みが難しい状況にあったことが考えられる。令和6年度は、そういったことも考慮した予算のため、収支は改善されると考えている。

■議題3について、資料に基づき事務局から説明。

■意見・質疑

【委員】 資料3の最後のページ「3 推進体制」についてはどのように理解したらよいか。

【事務局】

関係機関・団体が、医師会、薬剤師会、医療機関等であり、市の中での関係課が、健康保険課、健康推進課、介護保険課等となる。市が関係機関の協力を得ながら進めていきたいと考えている。

【委員】

別紙1の委託先は入札したのか。

【事務局】

委託先が提供するソフトの使用が、主な内容であるため入札はしていない。委託内容は、委託先が提供するソフトを使用することや、データの提供で、それらの使用方法などを習得し、提供された計画の定型に合わせて作成した。

【委員】

全市が同様の作成方法か。

【事務局】

全市ではない。計画策定全体を委託したところもある。本市では、一部の委託であるため委託料が16万5,000円であり、職員が策定の大半に関わって作成されたものである。

【委員】

計画策定の委託料が適正であるかを評価する必要があると考える。市の他課についても、こういったことは委託であるため、市が責任をもって適正であるかをきちっと評価し、市民にも伝えていただきたい。

【事務局】

承知した。

【委員】

資料3（3）重症化予防対策については、入院医療費で循環器の割合が高いが岸和田市の特徴か。

【事務局】

大阪府内各市、循環器の割合の高いところが多いが、その中でも岸和田市はより高い傾向にある。

【委員】

岸和田市特有の原因があるのか。

【事務局】

その原因を調べるためにもデータヘルスを進める必要がある。健診の状況を見ると血圧の高い方が他市に比べて多いと思われ、そのため重症化予防事業を実施していきたい。

【委員】

循環器の割合が高いのは、患者が多いということもあるが、専門の医療機関が多いことがある。専門とする医療機関が多ければ患者をよく診療する結果となる。

■議題4 その他事項（オンライン資格確認とマイナンバーカードの保険証利用について）

資料に基づき事務局から説明。

■意見・質疑

【委員】

マイナンバーカードを今後普及させていくということだが、健康診断など含めてデジタル化を進める計画を考えているのか。

【事務局】

他の自治体も同様、DX推進は国の方針でもあるため、進める必要性があることは認識しているが、具体的にどのように対応するかは定まっていない。

【委員】

近隣の市町とも協力して、岸和田市発信で先進的な取組みを進めて頂きたい。例えば、デジタル化により、データ入力や人海戦術で行っているものをコンピューター化するなど、計画的に進めていただきたい。進行状況についてはどうか。

【事務局】

DX推進に関してはIT推進課が担当であり、行政DX推進計画を策定している。一部の事務をAIで自動的に判断し行うことも一部の課で行っているが、当課ではそういったことに着手できていない。デジタル化についての必要性は認識している。

【委員】

ぜひ健康診断の結果などデータ入力をシステム化していただくようお願いする。

【委員】

マイナンバーカードをスマートフォンに登録することができるようになった。今後、スマートフォンで受診できるといった話は聞いていないか。

【事務局】

スマートフォンでの医療機関の受診については聞いていない。

■その他質問事項

■意見・質疑

【事務局】

事前に3点質問を送っていただいた。

1点目の質問。健康日本21に対する「ウエルエージングきしわだ」の計画が始まったが、この運営協議会は、「ウエルエージングきしわだ」とどのように関わるのかについては、「ウエルエージングきしわだ」は、健康推進課が主体となり、本市全体の健康増進計画として策定された。国民健康保険加入者の特定健診の受診率向上などは、計画へ関わるものであるが、運営協議会が直接「ウエルエージングきしわだ」と関わることはないと考えている。ウエルエージングきしわだ推進協議会等には、健康保険課の職員も委員として参画しているので、国民健康保険の状況を報告するなど、互いに情報共有を図っていきたい。

【事務局】

2点目の質問。骨粗鬆症検診受診率等の現状については、骨粗鬆症検診については、健康推進課で実施する健康増進事業の一つであり、健康増進法で規定されている。国の方では、女性を中心に実施するといった指針があり、40歳から70歳までを5歳刻みで毎年実施することが示されている。国へ報告した受診者を過去5年で申し上げると、令和元年度が315人、2年度が180人、3年度が210名、4年度が249人、5年度が239人となる。公式の数値ではないが、その時々で人口で単純に割ると、令和元年度が3.3%、2年度が1.9%、3年度が2.3%、4年度が2.9%、5年度が2.6%になる。この検診は特定健診などのオプションとしても受診できる。

3点目の質問。健康日本21の目標項目「COPDの死亡率減少」に行政としてどのように対応しているかについては、

COPD死亡率の減少は、市民全体の健康増進に関わるため健康推進課の担当になる。妊娠届出時の妊婦の面談で、禁煙の説明をすること、乳幼児健診のときに訪れる保護者にたばこのリスクについて、啓発チラシをもとに助言などを行っている。特定健診受診者へは保健指導で行っている。詳細な内容については健康推進課へお願いする。

【委員】

ウエルエージングきしわだは、国の「健康日本21」を踏まえ、岸和田市で具体的に何かしようということから始まり、市民健康まつりと講演会を実施してきた。ウエルエージングは、岸和田市で作った造語であり、その後多くの場所で使われるようになった。市民健康まつりは、独立して実施してきたが、予算の関係上、ウエルエージングそのものに組み入れ、各団体の協力をもって実施している。

【委員】

検診については、骨粗鬆症検診や肺癌検診などあわせて実施しているため、受診率の向上の点から、こういった検診を合わせて実施すればよいか質問の趣旨である。説明を聞いて検診（健診）についても、市内部で別々であることが改めて分かった。こういう点を踏まえて、国民健康保険運営協議会を進めるべきであり、必要となる情報の提供をお願いする。

【事務局】

承知した。

■その他（委員の任期について）

【事務局】

現委員については、来る10月末日をもって任期満了となる旨、説明。

■会長より挨拶及び御礼